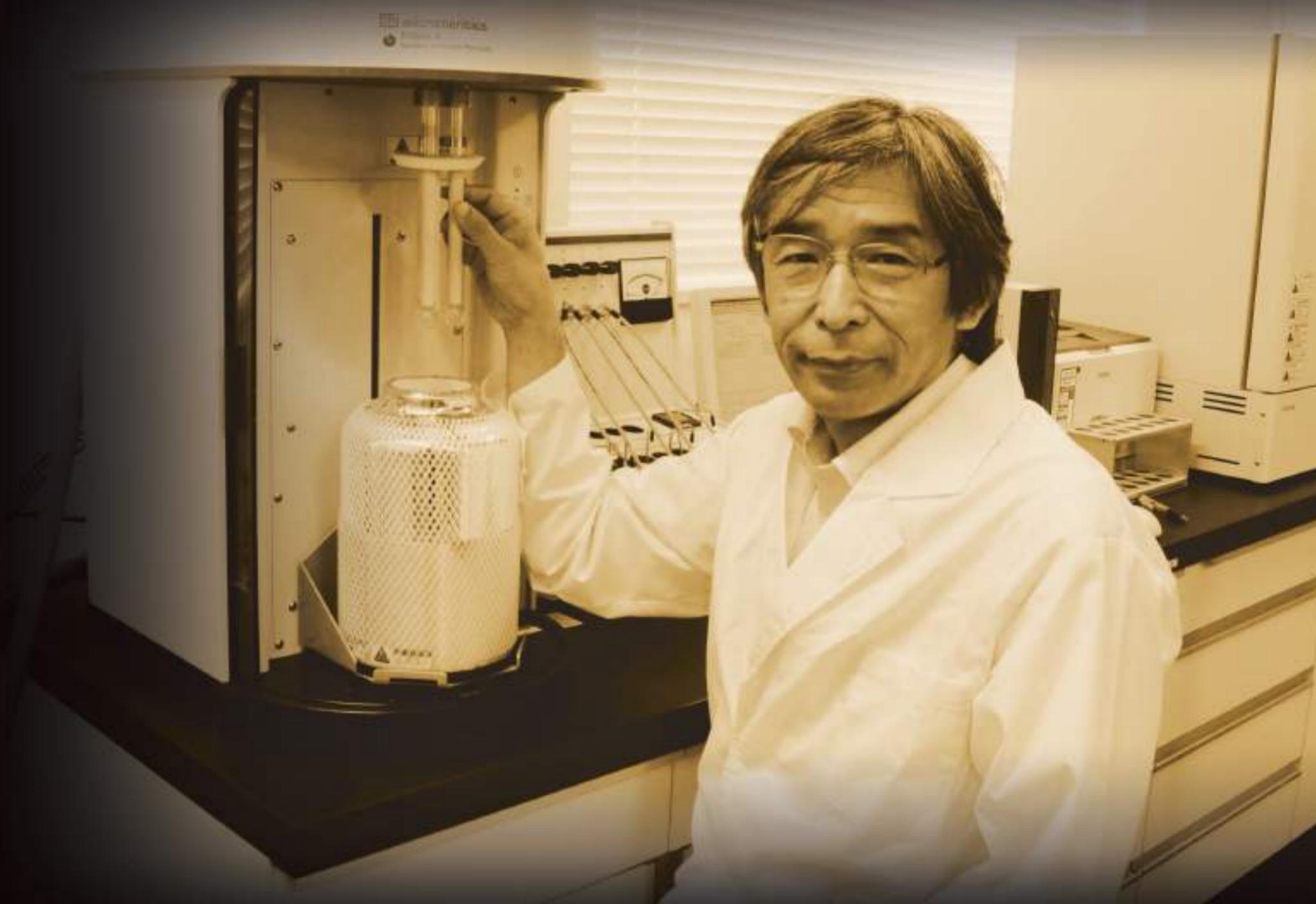


安心・安全な“食べられる”吸着剤の開発

有害物質までも吸着する
優れたナノ空間材料を求めて

多くの家庭で衣類や靴などの保管に使われている乾燥剤や脱臭剤には活性炭やシリカゲル、ゼオライトなどの無機系吸着剤が使われています。これらがもし、空気中の有害物質までも吸着し小さなお子さんが間違って食べても安全で、手軽に入手できたら便利だと思いませんか？トウモロコシデンプンを酵素反応させるとブドウ糖が輪になった構造のシクロデキストリン(CD)となり、これに減塩食品に含まれる塩化カリウムを加えることで「CD-MOF」と呼ばれる活性炭に匹敵するほどの広い表面積を持つ結晶を合成することができます。このCD-MOFは100%天然素材で作られているので食べることもでき、廃棄するととも自然環境への負荷が少ないうえに安価です。CD-MOF結晶内の微細な空洞には薬剤、香料有効成分を取り込むことができるので、吸着剤以外に医薬品、機能性食品、化粧品分野で新しい用途開発が期待されています。私の研究室では人や環境に優しく安全で安心な材料を創り出すことにみんな努力しています。



工学部 ナノサイエンス学科 草壁 克己 教授



崇城大学
SOJO UNIVERSITY

薬学部	生物生命学部	工学部	情報学部	芸術学部
薬学科	応用微生物工学科	応用生命科学科	機械工学科	ナノサイエンス学科

〒860-0082 熊本市西区池田 4-22-1 問い合わせ(入試課直通) TEL:096-326-6810

そうじょう大学 [検索](#)